

世界史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 16 ページある。ただし、白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。解答欄は裏面にもある。
5. 問題が指示する数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙は持ち帰らず、必ず提出すること。
10. **問題冊子は、必ず持ち帰ること。**
11. 試験時間は 60 分である。
12. マークシート記入例

良い例	悪い例
	

〔 I 〕 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

前 3000 年頃、オリエント世界の影響のもとでエーゲ海周辺に新たな文明が登場した。⁽¹⁾ 宮殿建築などで有名なこの文明は前 1200 年頃に消滅したが、その原因はよくわかっていない。

その後、暗黒時代と呼ばれる数世紀を経た後、ギリシアでは前 8 世紀頃から都市(ポリス)が出現した。さらに地中海や黒海の沿岸各地にもギリシア人の植民市が建設されていった。ポリスは政治的にはそれぞれ独立しており、⁽²⁾ 政治体制も異なっていたが、⁽³⁾ ポリス間では活発な交易が営まれ、また全体で共通性を備えた一つのギリシア人世界を形成していた。その中で特に⁽⁴⁾ スパルタと⁽⁵⁾ アテネが強力なポリスとして影響力を強めていた。自立したポリスを主体とするギリシアでは、自由な気風が育てられ、⁽⁶⁾ 独特な文化・芸術が発達した。⁽⁷⁾ 宗教的には多神教であり、多彩な内容を持った神話が生み出された。

前 5 世紀に起こった⁽⁸⁾ ペルシア戦争に勝利した後、アテネはデロス同盟を通じて他のポリスを支配するようになり、⁽⁹⁾ アテネの内部ではいわゆる民主政が実現した。しかし前 5 世紀後半には、⁽¹⁰⁾ スパルタとアテネとの間にペロポネソス戦争が生じた。⁽¹¹⁾ この戦争をきっかけにアテネの民主政にかげりが見え始め、またギリシアのポリスも全体として、徐々に衰退の時代に向かっていく。

前 4 世紀後半になると、ギリシアのポリスは、ほぼマケドニアの支配下に置かれた。マケドニアのアレクサンドロスは東方遠征を企ててペルシアを滅亡させ、エジプトからインダス川にいたる広大な地域を支配下に置いた。アレクサンドロスの死後、その征服地はいくつかの国家に分裂したが、オリエントの文化とギリシア文化の融合が進み、約 3 世紀にわたる⁽¹²⁾ ヘレニズム時代が訪れた。

設問 1. 下線部(1)に関する説明として最も適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ミケーネ文明では、統治の様子が粘土板に線文字Bで記された。
- B. クレタ文明では鉄器が主に用いられた。
- C. クレタ文明の姿は、ドイツのシュリーマンの発掘調査により明らかになった。
- D. ミケーネ文明の代表的な遺跡の一つに、クノッソスの王宮がある。

設問 2. 下線部(2)にあてはまる都市として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. シラクサ
- B. ビザンティウム(ビザンティオン)
- C. シドン
- D. ネアポリス

設問 3. 下線部(3)において取引された商品として最も適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 香辛料
- B. 毛皮
- C. コハク
- D. 陶器

設問 4. 下線部(4)に関する説明として最も適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 貴族がクレーロス(持ち分地)を独占的に所有していた。
- B. アゴラにはポリスの守護神を祭る神殿が建てられ、神聖な場所とされた。
- C. デルフォイのゼウス神殿における神託が尊重された。
- D. アイオリス人は、主に小アジア半島西北岸に住んでいた。

設問 5. 下線部(5)に関する説明として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. スパルタ市民は貨幣の使用を禁止された。
- B. スパルタのヘイロータイは非ギリシア系の被征服民から成り立っていた。
- C. アテネでは、前7世紀から慣習法の成文化がすすめられた。
- D. アテネでは、民衆の支持を背景に僭主政治が行われた。

設問 6. 下線部(6)に関する説明として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. イオニアの自然哲学は、合理的思考による世界の解釈を重視した。
- B. ソフィストは、相手をいかに説得するかを重視し、弁論術を説いた。
- C. アテネのパルテノン神殿は、コリント式建築様式の代表例である。
- D. ポリスには半円形の劇場が作られ、悲劇や喜劇が上演された。

設問 7. 下線部(7)に関連して、『神統記』でギリシアの神々の系譜を語った叙事詩人の名を解答欄に記入しなさい。

設問 8. 下線部(8)のきっかけとなる反乱を起こした都市として最も適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ミレトス
- B. コリント
- C. テーベ
- D. テイリンス

設問 9. 下線部(9)に関する説明として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 成年男子市民による民会が国政の最高機関であった。
- B. 無産市民である歩兵の支持を背景に、ペリクレスが実権を握った。
- C. 抽選制にもとづく陪審員による裁判が行われた。
- D. ほとんどの公職の任期は1年であった。

設問10. 下線部(10)以降のギリシアに関する説明として最も適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ポリスでは市民軍に代わって傭兵軍が重要になった。
- B. ギリシア北部でポリスを形成していたマケドニアの勢力が強まった。
- C. マケドニアはイオニア系のギリシア人が建てた王国と考えられている。
- D. マケドニアのフィリッポス2世は、カイロネイアの戦いにおいてアテネとスパルタの連合軍を破った。

設問11. 下線部(11)の時期のアテネに登場した扇動政治家は何と呼ばれるか、解答欄に記入しなさい。

設問12. 下線部(12)に関する説明として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 共通語としてコイネーが用いられた。
- B. 各地にギリシア風の都市が建設され、ギリシアから多数の市民が移住した。
- C. セレウコス朝からイラン人総督が独立して、バクトリア王国を建てた。
- D. アテネでゼノンが活躍し、ストア哲学の祖となった。

〔Ⅱ〕 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

中央アジアの乾燥した砂漠・草原地帯にあっても、雪解け水による河川や地下水を利用できるオアシスでは、古くから定住民の生活が営まれ、オアシス都市⁽¹⁾が成立した。オアシスは独立した生活・経済圏であり、手工業生産や隊商交易の拠点として、ユーラシアの東西を結ぶ「オアシスの道」と呼ばれる交易路を形成していた。この道は、中国の生糸や絹を西方にもたらしたことから、「絹の道」(シルク＝ロード)とも呼ばれる。また、西方からは物品のほか、宗教⁽²⁾や文字⁽³⁾が東伝するルートともなった。中央アジアに点在したオアシス都市は、みずから連合して大きな国家をつくることはなく、周辺の大規模国家⁽⁴⁾の支配下にはいることが多かった。

ユーラシア大陸の内部に広がる広大な草原地帯では、家畜を主な財産とする遊牧民⁽⁵⁾が暮らし、独自の生活様式を築いていたが、やがて彼らは有力な指導者のもとに集結して遊牧国家を形成するようになった。内陸アジアの東部に出現した遊牧国家⁽⁶⁾は、中国の歴代の王朝にもさまざまな形でかかわっていった。またパミール高原以西⁽⁷⁾のオアシス地域周辺でもいくつかの遊牧国家が登場した。こうした遊牧民の中には、内部分裂などの結果、西進してヨーロッパ方面まで移動した人たち⁽⁸⁾もいる。

草原地帯の遊牧民のうち、トルコ系の人々は、古くから中国の史書にも姿を見せているが、活発な活動を始めるのは6世紀以降である。その一部ウイグル人⁽⁹⁾は、8世紀半ばに強大な遊牧国家を築いた。その一方で、8世紀以降は西方からイスラーム勢力が進出し、中央アジアの支配をころみるようになった。またチベット高原にも遊牧民の影響はおよんでいたが、7世紀にこの地でチベット人による統一王国が成立し⁽¹⁰⁾、中国、中央アジア、インドを仲介する役割を果たした。⁽¹¹⁾

設問 1. 下線部(1)にあてはまらないものを一つ選んでマークしなさい。

- | | |
|---------|----------|
| A. クチャ | B. カシュガル |
| C. ホータン | D. マトゥラー |

設問 2. 下線部(2)に関連して、シルク＝ロードを通じた宗教の伝播に関する説明として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ゴロアスター教は、南北朝・隋唐時代の中国に伝わり、祆教と呼ばれた。
- B. 西トルキスタンでは、イスラーム化する以前には、主にマニ教の信仰が盛んであった。
- C. クシャーナ朝の保護をうけた大乘仏教は、中央アジアを経て日本にも伝来した。
- D. ネストリウス派キリスト教は、ササン朝を経て唐代の中国に伝わり、景教と呼ばれた。

設問 3. 下線部(3)に関連して、アラム文字から派生した文字として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. パスパ文字
- B. ウイグル文字
- C. ソグド文字
- D. 満州文字

設問 4. 下線部(4)に関連して、オアシス都市と周辺の大規模な国家の関係に関する説明として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. アケメネス朝のダレイオス1世は、エーゲ海北岸からインダス川にいたる大帝国を建設し、「王の道」と呼ばれる国道をつくった。
- B. 漢の武帝は、班超を西域に派遣したことをきっかけに、タリム盆地のオアシス諸都市にまで支配を広げた。
- C. パルティアのミトラダテス1世は、メソポタミアを支配し、東西交易から多くの利益をあげた。
- D. 突厥の支配のもとで、ソグド人商人が交易や外交面で活躍した。

設問 5. 下線部(5)に関する説明として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 前1千年紀の前半頃から、騎馬遊牧民の社会が出現した。
- B. 遊牧国家は、ほかの遊牧部族以外に、オアシス民や農耕民などを従えていることが多かった。
- C. 遊牧民のもたらす畜産物は、オアシス民が生産する穀物や織物と日常的に交換された。
- D. スキタイ人はモンゴル高原を本拠として遊牧国家を築いた。

設問 6. 下線部(6)に関する説明として最も適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 烏孫は甘粛・タリム盆地付近に勢力を築いた。
- B. 匈奴以降、君主の称号としてハンが用いられた。
- C. 匈奴が南北に分裂した後、南匈奴の一部は中国内地に移住した。
- D. 弱体化した匈奴に代わって、柔然がモンゴル高原を支配した。

設問 7. 下線部(7)に関連して、5世紀半ば頃からパミール高原以西のオアシス都市を支配した遊牧民の名称を一つ選んでマークしなさい。

- A. エフタル
- B. 高車
- C. 丁零
- D. 氐

設問 8. 下線部(8)に関連して、6世紀にヨーロッパに現れ、パンノニア平原に本拠をおいて東ローマ帝国や西ヨーロッパにも進出した遊牧民の名称を解答欄に記入しなさい。

設問 9. 下線部(9)に関する説明として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. モンゴル高原に進出し、城郭都市を築いた。
- B. 唐との間で、草原の馬と中国の絹を有利な条件で交換した。
- C. 9世紀半ばに契丹の攻撃を受けて国家が崩壊した。
- D. 国家の崩壊後、一部は中央アジアのオアシス地域に移住して定住生活に入った。

設問10. 下線部(10)に関連して、10世紀末から東西トルキスタンを支配し、この地方にイスラーム文化を導入したトルコ系王朝として最も適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. カラハン朝
- B. サーマーン朝
- C. セルジューク朝
- D. ホラズム＝シャー朝

設問11. 下線部(11)の王国の名称を解答欄に記入しなさい。

〔Ⅲ〕 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

中世の後半以来、イギリスでは商工業の発達により市民層が力をのばしていた。農村では旧来の領主層が力を失い、ヨーマン(独立自営農民)とよばれる富裕な農民層が活躍した。彼らの一部には副業として毛織物産業を営む者もいた。また地方行政や議会においてはジェントリ(郷紳)⁽¹⁾が重要な役割を演じるようになっていた。

16世紀に入ると、イギリスでは国家主導で宗教改革が進められ、イギリス国教会⁽²⁾が成立した。その体制は1559年の統一法で最終的に確立した。しかし国内にはカトリック勢力も残り、またピューリタンと呼ばれるカルヴァン派も存在した。

1603年に成立したステュアート朝の国王ジェームズ1世⁽³⁾は、王権神授説⁽⁴⁾にもとづく統治をこころみた。これに対して市民層やピューリタンの不満が高まり、1628年には「権利の請願」が議会で可決された。

国王と議会の対立は、次のチャールズ1世の時代に先鋭化し、イギリス革命⁽⁵⁾に突入する。そして1649年から、イギリスではクロムウェルの指導のもとで共和政が敷かれた。1660年には王政が復活したが、その後も国王と議会の対立は続いた。しかし1688年から89年の名誉革命⁽⁶⁾により、ようやくこの混乱は収拾に向かい、イギリスの順調な発展のための条件が整った⁽⁷⁾。

他方で、17世紀のヨーロッパは科学革命⁽⁸⁾の時代でもあった。近代的合理主義を基礎とする思想や学問が確立され、自然界の研究が進歩した。天体運動の観察から出発して万有引力の法則をとらえ、近代物理学の基礎をうちたてたニュートン⁽⁹⁾は、この時代を代表する自然科学者である。また、イギリスの(10)は事実の観察を重んじ、そこから一般法則を導く帰納法による経験論を説いた。これに対して、ヨーロッパの大陸部では演繹法を確立したデカルトらにより合理論がうちたてられた。この両者は18世紀末に、(11)を確立したカントによって統合された。

商工業が盛んになった17世紀から18世紀は、豊かな市民が台頭した時代でもあった。彼らは文化の担い手としても大きな影響力をもつようになり、その好み

を反映した文化が出現した。17世紀後半から18世紀前半のイギリスでは、ピューリタン文学のひとつである(12)の『天路歷程』や、市民に人気を博した小説である(13)の『ガリヴァー旅行記』といった作品がうまれた。

設問 1. 下線部(1)に関する説明として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. イギリスでは騎士がはやくから地主化して地方のジェントリとなった。
- B. 大土地所有で力をのばした上層ジェントリなどは、治安判事として地方政治を担い、下院議員として活躍した。
- C. 身分的には貴族と同格であった。
- D. 16世紀以降には、ジェントルマン階層を形成して社会の指導的立場に立った。

設問 2. 下線部(2)に関する説明として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ヘンリ8世の離婚問題をきっかけに宗教改革が始まった。
- B. 修道院を議会立法で廃止した。
- C. エドワード6世の時代に教義面での改革が進んだ。
- D. イギリス国教会は司教(主教)制を廃止した。

設問 3. 下線部(3)に関する説明として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. スコットランド出身の国王である。
- B. この国王の時代にピューリタンの一部が北アメリカ大陸に移住し、ピルグリム＝ファーザーズと呼ばれることになった。
- C. 一部の商人に独占権を与えることが批判の対象となった。
- D. 東インド会社を設立した。

設問 4. 下線部(4)の代表的理論家の一人で、フランス国王ルイ 14 世の王太子の教育係を務めた人物の名を解答欄に記入しなさい。

設問 5. 下線部(5)に関する説明として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. スコットランドにおける反乱が重要なきっかけとなった。
- B. 王党派は主にカトリック貴族によって成り立っていた。
- C. クロムウェルは、中産階級やジェントリの利益を支持した。
- D. 共和国政府は、通商面では重商主義政策をとった。

設問 6. 下線部(6)に関連して、王政復活から立憲王政確立までの時期のイギリス政治に関する説明として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. チャールズ 2 世は議会を尊重することを約束して国王となったが、その後、専制的な姿勢をとってカトリックの擁護をこころみて議会对立した。
- B. 国王の権威を重んずるトーリー党と、議会の権利を主張するホイッグ党という、今日の政党の起源となる二つの党派が誕生した。
- C. 議会在が制定した「権利の章典」は国民の生命・財産の保護などを定めていた。
- D. この当時、成人男性の半分が選挙権を持っていた。

設問 7. 下線部(7)に関する説明として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 寛容法が制定され、カトリック教徒にも信教の自由が認められた。
- B. アン女王の死後、ドイツのハノーヴァー選帝侯が国王に迎えられた。
- C. イングランドとスコットランドが合同して大ブリテン王国が成立した。
- D. ホイッグ党のウォルポールが首相となった。

設問 8. 下線部(8)の時期に活躍したイギリスの医学者として最も適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ラヴォワジエ
- B. ハーヴェー
- C. リンネ
- D. ケプラー

設問 9. 下線部(9)に関する説明として最も適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 物体落下の法則を主張し、ピサ大聖堂の斜塔での実験でそれを証明した。
- B. 微積分法や光の性質などの分野でも様々な研究業績を残した。
- C. 気体力学にも関心をはらい、気体の圧力と体積の関係を解明した。
- D. 1660年に結成された王立協会の初代会長職をつとめた。

設問10. 空欄(10)にあてはまる人名を解答欄に記入しなさい。

設問11. 空欄(11)にあてはまる最も適切な言葉を一つ選んでマークしなさい。

- A. 自然法思想
- B. 社会契約説
- C. ドイツ観念論
- D. 重農主義

設問12. 空欄(12)と空欄(13)に入る人名の組み合わせとして適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. (12)ミルトン (13)デフォー
- B. (12)ミルトン (13)スウィフト
- C. (12)バンヤン (13)スウィフト
- D. (12)バンヤン (13)デフォー

〔Ⅳ〕 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

近代以降、東アジアや東南アジア諸地域は列強によって植民地化され、あるいはその強い影響下に置かれてきた。これに対して各地で抵抗運動が生じていたが、第一次大戦を期に本格的に独立の機運が高まった⁽¹⁾。第二次大戦において広い地域が日本の支配下に置かれた後、大戦後には各地で独自の国家を樹立する運動が本格化した⁽²⁾が、国際情勢や周辺国の利害がこれにかかわり、事態は複雑な展開を見せた。

アメリカ合衆国にとっては、冷戦の緊張が高まる中で、この地域における共産主義の拡大を防ぐことが何よりも重要であった。ベトナム民主共和国(北ベトナム)とフランスとの間に生じたインドシナ戦争は1954年に一応終息したものの、これを認めなかったアメリカ合衆国は同年、東南アジア条約機構(SEATO)⁽⁴⁾を結成させた。アメリカ合衆国は1960年代にベトナムにおける本格的な戦争に突入する。ベトナムはこの戦争において大きな被害を受けたが、最終的に北ベトナムが勝利をおさめ、1976年には南北を統一させたベトナム社会主義共和国が成立した。そして1986年以降、ゆるやかな市場経済をめざすようになる⁽⁵⁾。

ベトナムと同じくフランスから独立したカンボジア⁽⁶⁾では、諸外国の支援を受けた諸派の対立によって内戦が続いた。

1960年代頃からは世界各地で、政治運動や社会運動を抑え込みながら強権的な体制によって近代化をはかる開発独裁が登場したが、東南アジアにもその典型的な指導者が現れた⁽⁷⁾。また、1967年には地域協力機構として東南アジア諸国連合(ASEAN)が成立した。これは当初は反共同盟の性格が強かったが、しだいに経済協力に重点を置くようになった。

日本がすでに第一次大戦以前から植民地化していた台湾および朝鮮半島は、第二次大戦の終結とともにその支配から解放されたが、⁽⁸⁾その後もお緊張状態や紛争が続いた。朝鮮半島では1948年に大韓民国(韓国)と朝鮮民主主義人民共和国が成立して南北は完全に分断された。1950年に生じた朝鮮戦争は、この地域の人々に大きな被害を与えただけでなく、日本も含めた周辺諸国にも大きな影響をおよぼした⁽⁹⁾。南北の対立のもとで、韓国では戦争後も軍部政権が続き、1980年⁽¹⁰⁾

には民主化要求の運動を政府が鎮圧する事件が生じた。しかしその後、冷戦終結とともに民主的な体制への移行が進み、1992年には32年ぶりに文民から大統領が選ばれた。⁽¹⁾

設問 1. 下線部(1)に関連して、フィリピン革命を指導し、1899年に共和国を樹立させてその大統領となった人物名を一つ選んでマークしなさい。

- A. ホセ=リサール
- B. ファン=ボイ=チャウ
- C. アギナルド
- D. ティラク

設問 2. 下線部(2)に関連して、1920年代から30年代の東南アジア諸地域に関する説明として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. フランス領インドシナではホー=チ=ミンがベトナム青年革命同志会を組織した。
- B. オランダ領東インドではスカルノによって組織された共産党が蜂起を企てた。
- C. フィリピンでは農民反乱がくりかえされた結果、独立準備政府が発足した。
- D. シyam(タイ)はクーデタによって立憲君主国となった。

設問 3. 下線部(3)に関連して、東アジアや東南アジアに対するアメリカ合衆国の関与に関する説明として最も適切なものを一つ選んでマークしなさい。

- A. トルーマン政権は朝鮮戦争の休戦協定を実現させた。
- B. ケネディ政権はトンキン湾事件を口実に北ベトナムへの爆撃に踏み切った。
- C. ジョンソン政権は「巻き返し政策」をかかげて積極的な反共外交を展開した。
- D. ニクソン政権はアメリカ軍の南ベトナムからの撤退を実現させた。

設問 4. 下線部(4)の構成国として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. タイ
- B. ニュージーランド
- C. パキスタン
- D. インドネシア

設問 5. 下線部(5)の政策は何と呼ばれるか、解答欄に記入しなさい。

設問 6. 下線部(6)に関する説明として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. ラオスとともに、ジュネーブ会議において独立が承認された。
- B. シハヌークはベトナム戦争の最中に親米派によって追放された。
- C. ポル=ポト政権は中国の介入によって倒された。
- D. カンボジア和平協定締結の後、カンボジア王国が樹立された。

設問 7. 下線部(7)にあてはまる最も適切な人名を一つ選んでマークしなさい。

- A. ヘン=サムリン
- B. ネ=ウイン
- C. スハルト
- D. ペロン

設問 8. 下線部(8)に関する説明として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 1947年に二・二八事件が生じたが武力で鎮圧された。
- B. 1949年以降、中華民国政府が置かれた。
- C. 1987年に戒厳令が解除された。
- D. 1988年に李登輝が民進党から初の総統に選ばれた。

設問 9. 下線部(9)に関連して、1950年以降の日本に関する説明として適切でないものを一つ選んでマークしなさい。

- A. 朝鮮戦争の勃発後に警察予備隊が設置された。
- B. サンフランシスコ講和条約の締結により、国際連合加盟が実現した。
- C. 台湾の国民党政府との間に日華平和条約を締結した。
- D. 日米安全保障条約改定の際、アメリカ合衆国の日本防衛義務が明文化された。

設問10. 下線部(10)の事件が生じた都市名を解答欄に記入しなさい。

設問11. 下線部(11)の大統領として適切な人名を一つ選んでマークしなさい。

- A. 金泳三
- B. 金大中
- C. 盧泰愚
- D. 盧武鉉